

# 「Tokyo Contemporary Art Award」 概要

## 【目的】

国内で実績があり、世界に発信すべき中堅アーティストのステップアップを促し、世界で活躍するアーティストの登竜門となるような賞として、東京の文化都市としての魅力を向上させる。

## 【対象】

海外での活動に意欲があり、概ね10年以上の活動経歴を有する現代美術の分野で活動する中堅アーティスト（ジャンル不問）

## 【特徴】

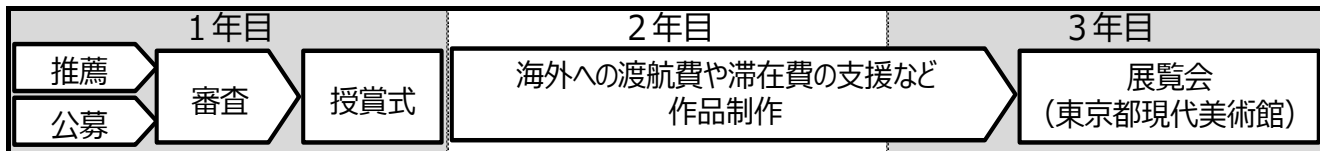
- ・スタジオ訪問や面談により、**作品のみではなく**、制作のプロセスを含めたアーティストの**ポテンシャルを総合的に審査**
- ・受賞から、**東京都現代美術館で展覧会を実施**するまで、2年間をかけて**継続的に支援**

## 【支援内容】

受賞者は2組とし、それぞれに以下の支援を行う。

- (1) 賞金300万円
- (2) 海外での活動支援上限100万円（旅費、滞在費、調査・制作費等）
- (3) 展覧会実施（東京都現代美術館での展示）
- (4) モノグラフ（作品集）の作成（上記（3）の展示にあわせて制作）

## 【賞のスケジュール】



## Tokyo Contemporary Art Award 2021-2023 選考委員

(順不同／敬称略)

ソフィア・ヘルナンデス・チョン・クイ	ヴィッテ・デ・ヴィット現代美術センター（旧称）ディレクター
住友 文彦	アーツ前橋 館長／東京藝術大学大学院 准教授
高橋 瑞木	CHAT（Centre for Heritage, Arts and Textile）エグゼクティブディレクター 兼チーフキュレーター
キャロル・インハ・ルー	北京インサイドアウト美術館 ディレクター
鷺田 めるろ	十和田市現代美術館 館長
近藤 由紀	トーキョーアーツアンドスペース プログラムディレクター (公益財団法人東京都歴史文化財団東京都現代美術館トーキョーアーツアンドスペース事業課長)

※肩書きは、令和3(2021)年1月時点のものです。